

# 水切りダイエット! で

# ごみ減量



生活しているとどうしても発生してしまうごみ。市で処理するごみの量は年間約18,000トンで、市民1人当たり、毎日約1kgのごみを出していることとなります。

皆さんのリサイクル意識の高まりによりごみの資源化は進んでいますが、さらなる環境への負荷の低減とごみ処理費用の削減のため、ごみの減量化が求められています。

まだまだ暑い日が続く夏場は、水分をたくさん含んだごみが多くなります。ご家庭での「ぎゅっとひとしぼり」や生ごみ処理容器の活用などで、しっかり水切りをして、みんなでごみを減量しましょう。

**問合せ** 環境課廃棄物対策グループ (☎82-8081)

水分を減らすことで、こんなに良い効果が!?

- 1 ごみ出しが楽になります。
- 2 臭いの発生を軽減できるため、台所やごみ集積所の衛生が保たれます。



- 3 生ごみの水分が少ないと、ごみ処理に使用される燃料や電気量が少なくなり、処理費用も低減されます。
- 4 ごみ処理効率が向上し、二酸化炭素排出量の削減につながります。

## 生ごみの約80%が水分です。手軽な「水切りダイエット」でごみ減量を!

### ●濡らさない

- 野菜等の皮は洗う前にむくなど、生ごみとなってしまうものは濡らさないよう心掛けましょう。



### ●水を切る

- 水切りネットなどを利用しましょう。



### ●押ししぼる

- 三角コーナーにたまった生ごみをビンやペットボトルの底で押ししぼる、水切り器を使ってしぼるなど、最後に「ぎゅっとひとしぼり」しましょう。



## ほかにも水分カットでごみ減量を!

### ●植栽が多い家庭は「乾燥ダイエット」

家庭で剪定した枝葉などは、乾燥させてからごみ出ししましょう。十分に乾燥させると、生木で出す場合と比べ水分がずいぶん減り、ごみの減量につながります。



### ●生ごみ処理容器の活用でごみ減量を!

生ごみ処理容器を使えば、乾燥や堆肥化により生ごみを減量でき、堆肥として家庭菜園などで利用することもできます。



※市では、生ごみ処理容器購入費の一部を補助しています。  
補助金額 購入費の2分の1(上限25,000円)  
詳しくは、環境課廃棄物対策グループへお問い合わせください。

